

コースデザイン1

2017年4月21日

東京女子大学

松尾 慎

コースデザイン

コースデザインとは

- 一 日本語のコース全体の設計のこと
- コースデザインについて知ることによって、教師、学習者、教材、教え方、評価など、日本語教育の中での、様々な概念の位置づけや関係性が、イメージしやすくなります。

(タスク1)まず考えてみましょう

- あなたたちは、西荻にある某女子大学の日本語教員養成課程で学んでいます。
- 夏休みに学内で日本語教育実習を企画、実行します。各グループ学生は5名います。
- 期間は5日間です。

(タスク1)まず考えてみましょう

- あなたたちのグループは、テーマを「西荻多文化マップづくり」にして参加者を募集します。
- 参加者の参加条件を考えてください。日本語の言語能力的側面からみた参加条件をどう設定しますか。理由とともに考えてください。

(タスク1) 発表タイム！

- 日本語の言語能力的側面からみた参加条件をどう設定しましたか。また、理由は何ですか。

(タスク1)さらに考えるための条件

- 参加者の参加条件(日本語の言語能力的側面)を以下の通りに仮定します。
- ひらがな・カタカナを読むことができる
- 初級前半の学習者も可(逆に中級以上も可)
- 参加申込みが10名ありました。

(タスク1)さらに考えてみましょう

- あなたたちのグループは、実習開始前に、参加者10名の どんな情報を収集して、どんなことを決めなければなりませんか。また、どのように情報収集をしますか。
 - ① どんな情報が必要か
 - ② どのように情報収集をするか
 - ③ どんなことを決めておく必要があるか※思いっただけ挙げてみましょう。

(タスク1)発表しましょう



参加者からの情報収集項目（例）



- 参加動機
- 母語
- 日本語以外に使用する言語
- どのように日本語を学んでいるか（日本語学校・独学）
- 教科書で学んでいるなら教科書名とどこまで学んだか
- 西荻に関してどれぐらいの知識があるか
- 漢字の読み書きの程度
- 日本語能力試験

参加者からの情報収集項目（例）



- 5日間、すべてに参加できるか
- 活動のための費用（食事代など負担できるか）
- 文化的背景（食事制限やその他）
- 日本人との接触の有無など
- SNSなどで連絡できるか否か
-
-
-
-

調査① 学習者の背景調査(例)



母語

職業

来日の時期

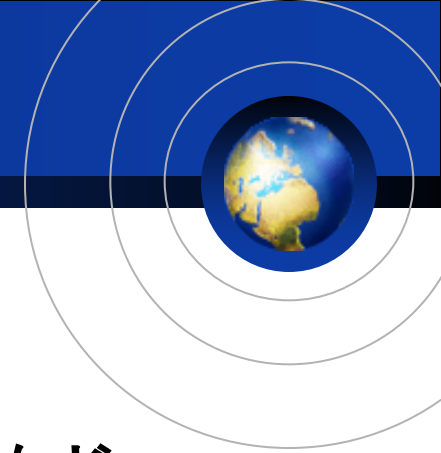
滞在予定期間

将来の予定・目標

日本語学習歴(または他の言語を勉強したか)

日本人との接触の有無など

コースデザインの流れ



■ 第1段階: 調査・分析

学習者の背景情報の収集

例) 学習の目的、学習の適性、既習事項など
ニーズ分析、レディネス分析、目標言語調査

■ 第2段階: 計画・決定

何を教えるかを定める ⇒ シラバスデザイン

どのように教えるかを定める ⇒ カリキュラムデザイン

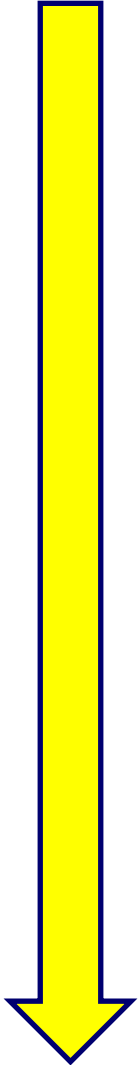
教材の選択

■ 第3段階: 実行

教育の実施、テスト

■ 第4段階: 評価

評価、相談



次週

- 第1段階：調査・分析
- 第2段階：計画・決定
に関し、復習します。

第3段階、第4段階に関しては、次週以降に取り上げる予定です。